

表 高圧ガス事故事例

No.	事故発生日	事故名称	事故概要
1	1994年 4月24日	液化酸素 容器の転 落爆発	トラックで液化酸素の容器 2 本と液化窒素容器 2 本を積載して走行中、下りのカーブで液化酸素容器 1 本が落下した。トラックに付いているクレーンで容器を吊り上げていたところワイヤーがはずれ、再び落下し直後に爆発した。
2	1995年 4月19日	L P ガス 容器転落 による火 災	谷川岳ロープウェー土合駅舎で 50 ㏩ L P ガス容器 5 本を貨物輸送用電動クレーンで吊り上げ床に降ろす際、床の油で容器がすべり転倒した。バルブからガス漏れが起こり、ストーブの火によって引火火災となった。
3	2018年 7月2日	LP ガス 容器落下 損傷ガス 噴出漏え い	<p>容器交換時に容器倉庫内での作業中約 3.5m 吊り上げた 450 kg 容器 (No3) を容器倉庫にある容器 (No4 供給設備接続) の頭上に落下させ、容器 (No3) の液相バルブと安全弁が破損、かつ、容器の肩部分にき裂が入り LP ガスが噴出漏えいした。</p> <p>【直接的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>容器を吊り下げていた 5 年間使用の吊り具ベルトが切れたことによる。</li> </ul> <p>【間接的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>吊り具の劣化の状態が外観だけでは判断できなかった。管理状態も担当任せであった。</li> <li>吊り具の交換年数等の基準があいまいであったこと。</li> <li>交換手順の作業基準がなかったこと。</li> <li>少しでも早く作業を終わらせたいと作業車が安全性を優先しなかった事。</li> <li>容器の取扱いにも粗暴な扱いの疑いがあること。(逆さまで落下された行為)</li> </ul>